

平成 30 年度第 1 回日野町総合教育会議議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	平成 30 年 5 月 7 日 (月) 13:30 開会
2. 場 所	日野町役場 第 1 会議室
3. 開会 (閉会)	13:30～14:35
4. 出席委員等氏名	埴田淳一 頭本元文、生田一女、景山美由紀、生田 進、長谷川弘信
5. 町長あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施政方針などの内容をお話しする。 教育、子育てを重点施策としている。保育所、小中高等学校の交流、保育の充実を目指す。日野町の子どもたちに期待する人間像は、学校教育を通じて人を大切にする心をもった人間に成長してほしい。</li> <li>・「チャンネルひの」により日野町の歴史、文化など良いところを発信したい。ふるさとを見直し、愛着をもつ契機としてほしい。ずっと住み続けたい、子どもたちに誇りをもって引き継げる町にしたい。</li> </ul>
6. 協議 教育長 課 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次日野町教育大綱について</li> <li>・資料 1 説明                H29.5 月「第 2 次日野町教育大綱」制定                H27.7 月「日野町教育大綱」制定                H27.10 月「きらり日野町創生戦略」策定                「日野町教育大綱」を深化し、「きらり日野町創生戦略」の理念にのっとった教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針を示すため「第 2 次日野町教育大綱」を策定。             </li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域に根ざした生きがづくり 生涯学習の推進</li> <li>2. 次代を担う人づくり                保育、学校教育を通じてどのような力を育てていくのか                (変更) 高度情報化社会、グローバル化する社会を主体的に生きる力…ICT 環境の整備、公設英語教室の展開                外国語指導力向上事業を追加                (変更) 自ら学ぶ力…主体的・対話的で深い学びを実現                新学習指導要領の根底ある考え方                (変更) 小中一貫カリキュラムの検討、実施…小中一貫校                義務教育学校での実践                今後の日野町学校教育の在り方を検討するうえでの選択肢のひとつ             </li> <li>3. 学びのセーフティネット</li> </ol>

<p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>頭 本</p> <p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>頭 本</p>	<p>教育環境の充実  (変更) 安心して子育てができる環境づくり…病児病後児  保育の充実を追加</p> <p>4. 心身ともに健康で豊かな地域づくり  生涯スポーツ、社会体育に関すること  スポーツ指導員については現在配置なし</p> <p>5. 地域に根ざした文化の継承と創造  芸術文化の振興と文化財保護  町誌編さんについて追加</p> <p>日野町教育大綱 日野町教育の5つの柱 H32年度まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きらり日野町創生戦略」に基づき大綱を制定  大綱に基づき「教育振興基本計画」を教育委員会が策定</li> <li>・スポーツ指導員の配置について</li> <li>・鳥取県スポーツ課 1/2 補助事業により花田指導員を配置。  3年間の予定だったが、指導員が和歌山県庁に採用となったため配置できなくなった。</li> <li>・今後の予定はどうか。</li> <li>・常勤でなくてもできれば指導員を配置したい。  ヨネックスの協力でソフトテニス講習会を引き続き実施するため、6月補正予算に経費を計上。</li> <li>・県教育委員会 H30. 4. 1～新体制 山本新教育長就任</li> <li>・新教育委員会体制について 説明  構成 首長と教育委員会が原則だが日野町は副町長も構成員  副町長が選任されてから検討  教育大綱は首長が策定する</li> <li>・首長が替われば大綱も変えることがある。</li> <li>・創生戦略が来年度までなので、大綱も見直す時期。</li> <li>・平成29年度に制定された大綱であるし、首長の施策と違うところもないので、変えなくてもよい。</li> <li>・3月議会の町長の施政方針や一般質問の回答内容と、基本的な考え方は同じ。</li> <li>・学校統合について  前町長は小規模校を存続する考えだった。  教育委員会としては、義務教育学校や小中一貫校なども含めて検討していく。</li> <li>・自治会長会議や、行政懇談会で小学校統合の意見が出ている。  早めに検討していくことが必要。</li> <li>・保育所保護者のアンケート結果は。</li> </ul>
--	---

教育長 頭 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果報告はきていない。</li> <li>・コミュニティ・スクールと同様に統合等についても進めていく必要がある。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合反対であっても、義務教育学校など新しい制度なら賛成、という意見あり。保育所は小学校で別れるのはよくないとの意見。</li> </ul>
生田一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に黒坂小の入学児童は保育所9名から1名になるなどの状況が続くのが問題。</li> </ul>
頭 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを第一に、地域のことは行政として分けて考えていけないといけない。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会としては学校教育を中心に考え、統合に向け諮問機関を設置し一般の方に入ってもらって方向性を検討、諮問結果を町長に上程するという流れ。 一貫校でも義務教育学校でも分離型は弊害があるようだ。</li> </ul>
町 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問機関で検討しアンケートをとるか。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートをとる時期かどうか、誰を対象にするかを検討。</li> </ul>
課 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒坂小は国の基準だとこれから3学級、県の基準だと1年生は複式としない、根雨小は今年度2・3年が複式学級、来年度は2・3年または3・4年の複式がひとつ、32年度と33年度は2・3年および4・5年で2つ、それ以降はまたひとつとなる。統合すれば複式学級はなくなる。</li> </ul>
生田進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一貫校と義務教育学校の違いがわかる人はあまりいないので、諮問機関のメンバーを決めるのも難しい。</li> </ul>
課 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校は小学校と中学校、義務教育学校は一校なので原則小中両方の免許をもった先生が必要。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎が別だと児童生徒の行き来だけでも大変。 統合する理由が少人数だからというわけにはいかない。</li> </ul>
景 山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合のほうが早く結論がでる。義務教育学校になると施設面など難しいことが多く時間がかかる。 黒坂小は現状にあまり不満がないので、統合に対して強く意見をする保護者がいない。</li> </ul>
生田進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口小の統合の際は、新しい学校にすることで進められた。</li> </ul>
頭 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合したほうが中学校にもスムーズに進学できる。</li> </ul>
生田一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所が統合したのに、小学校が別れることが問題。</li> </ul>
町 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒坂、根雨に小学校を残したまま学年を分けて活用できるか。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分校という方式もあるが、それなら現状のままでよい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議の在り方 1年の開催回数など</li> </ul>

町 長	・定期的に開催したほうがよい。
7. その他 教育長	・おひさまひろば事業 1,000 円の年間費用を無料化
景 山	・病児保育の早期開始 調整中 平成 30 年度～
教育長	・インフルエンザが流行した時に病児病後児保育は可能か。
町 長	・発熱外来が手狭だという情報はない。
	・日野高校双葉寮 3 名入寮 学習会には 4～5 名参加

平成 30 年 5 月 7 日

日野町総合教育会議